

富士河口湖町立 教育センターだより

No.18



平成26年12月15日 文責 高尾久美子

富士山学習公開授業

12月9日（火）西浜小学校において、藤巻桂吾先生による富士山学習公開授業を行いました。保護者を含め約30名ほどの方に参観していただきました。

これらの写真は、各学校から撮った富士山です。上から船津小・勝山小・河口小・富士豊茂小・大石小です。（まだまだたくさんありますが、載せられなくてすみません。）

授業ではまず、各学校から見た富士山の写真を導入に使いました。富士山の見え方が場所によって少しずつ違うこと、そしてそれは富士山の成り立ちと関係があることを学ぶという内容でした。

今まで西浜小の4年生は、富士河口湖町の小学校7校と山中小・忍野小・鳴沢小と手紙のやり取りをしながら、各校から見える富士山の写真や各校の校歌で表現されている富士山の姿について学んできました。

ゲストとして、富士山科学研究所の堀内一義先生に来ていただきスライドを使って分かりやすく授業を進めていただきました。具体的な例をあげながら、船津小から見た富士山と勝山小から見た富士山の違い等を子どもたちに考えさせました。また、西浜小の学園歌には、富士山という言葉は出てきていないが、「芙蓉の峰」という言葉が富士山の気高さを表しているというお話を、子どもたちは驚きうれしそうに聞いていました。

今回の授業は、多くの領域にわたって学習する授業でした。手紙の書き方、自分の学校をリーフレットにして紹介する、紹介するために写真をアップとルーズで撮る等、国語の授業も兼ねています。各校と共有できる内容です。ぜひ、富士山学習の一つに加えていただけたらと思っています。

この授業の後、第4回富士山学習研究会を行いました。

私たちは、なぜ富士山学習をするのか。

「富士山が世界遺産に登録され、富士山のいろいろなことを知り、どうしたら富士山を守っていくことができるか考えられる子どもになってほしい。」「富士山のことを少しでも語れるようになってほしい。」という願いをもってこれからも頑張っていきたいと思えます

